

6 月例会「株式会社辻製作所様 訪問例会」

6 月 24 日 於 株式会社辻製作所 第二工場

有限会社 植田製作所 植田 晃史

今期、会社訪問研修委員会では、「今こそ、その一步を～理想の姿に近づくために～」のテーマの基、活動を進めております。6月例会では覚悟を以て実際に想いを実行され、ご活躍されている辻製作所様を訪問し、理想の姿に近づく為の一步を踏み出すきっかけとなる例会を開催いたしました。例会には、40名の会員様にご参加いただきました。

1部では昨年竣工されました第二工場を見学させていただき、先頭に辻悠真氏、後方に辻社長で前後から、ご対応いただき、1階から4階までご案内いただきました。

板金屋ならではのこだわりや、自社で製作した手摺り、世界でここにしかない壁のオブジェなど、要所に辻社長の思いが散りばめられた社屋でした。1階の生産現場は、「板金のオートメーション化」を実現した驚くような設備が導入されておりました。「板金加工は手仕事」という概念を覆し、従来の加工方法を見直し、「機械の仕事」「人の仕事」を分類・分析し、職人氣質で手仕事だった自社に大胆な改革をもたらし、それが見事な形になった様な社屋でした。

2部では辻社長の現在に至るまでの経緯や、キセイレンとの出会い、そこで出会った仲間の事にも触れながら、その時々への会社への思いや父親、社員に対する接し方などの、経験談をお話いただき、身内が会社におられる会員様にはとても参考になったのではないのでしょうか？

また、新型コロナウイルス蔓延の影響で延期となった前期1月例会のテーマ、【未来に点を打つ】という部分にも触れていただき「想いだけでは形にならない。それを具体的に数字などに表しながら実行していく」というフレーズが印象的でした。講演の終盤では、辻社長自身がキセイレンとどのように関わってきたか、またその結果、全てのキッカケがキセイレンからであったこと等をお話くださり、今回参加した若手会員にキセイレンに関わる一歩として後押ししていただける内容となりました。

今回は公益財団法人京都産業21の岡本専務理事もご参加いただき、キセイレンの素晴らしさ、繋がりの大切さ、そしてリアル開催の臨場感を懐かしむ様にお言葉をいただきました。改めて例会にご参加いただいた会員様、京都産業21の方々、そして会社訪問を引き受けて下さいました辻社長、本当にありがとうございました。

